

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年3月24日(2016.3.24)

【公表番号】特表2015-513857(P2015-513857A)

【公表日】平成27年5月14日(2015.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2015-032

【出願番号】特願2014-560052(P2014-560052)

【国際特許分類】

H 04 W	48/16	(2009.01)
H 04 W	8/00	(2009.01)
H 04 W	84/10	(2009.01)
H 04 W	84/12	(2009.01)
H 04 W	92/08	(2009.01)
H 04 M	1/00	(2006.01)
H 04 W	48/18	(2009.01)

【F I】

H 04 W	48/16	1 3 0
H 04 W	8/00	1 1 0
H 04 W	84/10	1 1 0
H 04 W	84/12	
H 04 W	92/08	1 1 0
H 04 M	1/00	R
H 04 W	48/18	1 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月2日(2016.2.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ機器、UEを接続するための方法であって、

前記UEとの異なるデバイスの接続を監視すること、

異なるデバイスとの対話および接続に関する履歴情報を取得するために時間をかけて前記異なるデバイスの前記接続を相關付けることと、

前記相関に基づいて、モバイルコンピューティング環境、MCEを決定することと、
前記MCEと関連付けられる情報を記憶することとを備える、方法。

【請求項2】

前記異なるデバイスの少なくとも1つの識別に基づいて、既知のMCEを自動的に検出することと、

前記記憶された情報に基づいて、前記異なるデバイスの1つまたは複数との接続を自動的に再確立して、前記MCEを再確立することとをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記再確立されたMCEに基づいて、前記UE上の少なくとも1つのRFデバイスを無効にすることをさらに備える、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記異なるデバイスの少なくとも1つの前記識別が、前記異なるデバイスのM A Cアドレス、デバイスI D、ブルートゥース(登録商標)デバイスアドレス、ネットワークS S I D、I Pアドレス、またはセルタワーアドレスに基づく、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

前記相関付けることが、

前記異なるデバイスとの前記接続に関する履歴情報を取得することをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記異なるデバイスの少なくとも2つが、前記異なるデバイスの別のデバイスとは異なるワイヤレス技術を使用して前記U Eと通信する、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

G P S位置および/または他の位置ベースのサービスに基づいて前記M C Eを決定することをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

ユーザ機器、U Eを接続するための装置であって、

前記U Eとの異なるデバイスの接続を監視するための手段と、

異なるデバイスとの対話および接続に関する履歴情報を取得するために時間をかけて前記異なるデバイスの前記接続を相関付けるための手段と、

前記相関に基づいて、モバイルコンピューティング環境、M C Eを決定するための手段と、

前記M C Eと関連付けられる情報を記憶するための手段とを備える、装置。

【請求項9】

前記異なるデバイスの少なくとも1つの識別に基づいて、既知のM C Eを自動的に検出するための手段と、

前記記憶された情報に基づいて、前記異なるデバイスの1つまたは複数との接続を自動的に再確立して、前記M C Eを再確立するための手段とをさらに備える、請求項8に記載の装置。

【請求項10】

前記再確立されたM C Eに基づいて、前記U E上の少なくとも1つのR Fデバイスを無効にするための手段をさらに備える、請求項9に記載の装置。

【請求項11】

前記異なるデバイスの少なくとも1つの前記識別が、前記異なるデバイスのM A Cアドレス、デバイスI D、ブルートゥースデバイスアドレス、ネットワークS S I D、I Pアドレス、またはセルタワーアドレスに基づく、請求項9に記載の装置。

【請求項12】

相関付けるための前記手段が、

前記異なるデバイスとの前記接続に関する履歴情報を取得するための手段を備える、請求項8に記載の装置。

【請求項13】

前記異なるデバイスの少なくとも2つが、前記異なるデバイスの別のデバイスとは異なるワイヤレス技術を使用して前記U Eと通信する、請求項8に記載の装置。

【請求項14】

G P S位置および/または他の位置ベースのサービスに基づいて前記M C Eを決定するための手段をさらに備える、請求項8に記載の装置。

【請求項15】

請求項1乃至7のうちの任意の1つにしたがってコンピュータに方法を実行させる命令を記憶した、コンピュータ可読記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

[0090]上記の開示は本発明の例示的な実施形態を示すが、添付の特許請求の範囲によつて規定される本発明の範囲から逸脱することなく本明細書において異なる変更および修正が行われ得ることに留意されたい。本明細書で説明された本発明の実施形態による方法クレームの機能、ステップおよび／または動作は、特定の順序で実行される必要はない。さらに、本発明の要素は、単数形で説明または特許請求されていることがあるが、単数形に限定することが明示的に述べられていない限り、複数形が企図される。

以下に、本願出願の当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C1] ユーザ機器（UE）を接続するための方法であって、

前記UEとの異なるデバイスの接続を監視することと、

前記異なるデバイスの前記接続を相関付けることと、

前記相関に基づいて、モバイルコンピューティング環境（MCE）を決定することと、

前記MCEと関連付けられる情報を記憶することとを備える、方法。

[C2] 前記異なるデバイスの少なくとも1つの識別に基づいて、既知のMCEを自動的に検出することと、

前記記憶された情報に基づいて、前記異なるデバイスの1つまたは複数との接続を自動的に再確立して、前記MCEを再確立することとをさらに備える、C1に記載の方法。

[C3] 前記再確立されたMCEに基づいて、前記UE上の少なくとも1つのRFデバイスを無効にすることとをさらに備える、C2に記載の方法。

[C4] 前記異なるデバイスの少なくとも1つの前記識別が、前記異なるデバイスのMACアドレス、デバイスID、ブルートゥースデバイスアドレス、ネットワークSSID、IPアドレス、またはセルタワーアドレスに基づく、C2に記載の方法。

[C5] 前記相関付けることが、

前記異なるデバイスとの前記接続に関する履歴情報を取得することとをさらに備える、C1に記載の方法。

[C6] 前記異なるデバイスの少なくとも2つが、前記異なるデバイスの別のデバイスとは異なるワイヤレス技術を使用して前記UEと通信する、C1に記載の方法。

[C7] GPS位置および／または他の位置ベースのサービスに基づいて前記MCEを決定することとをさらに備える、C1に記載の方法。

[C8] ユーザ機器（UE）であって、

前記UEとの異なるデバイスの接続を監視するように構成される論理回路と、

前記異なるデバイスの前記接続を相関付けるように構成される論理回路と、

前記相関に基づいて、モバイルコンピューティング環境（MCE）を決定するように構成される論理回路と、

前記MCEと関連付けられる情報を記憶するように構成されるメモリとを備える、ユーザ機器（UE）。

[C9] 前記異なるデバイスの少なくとも1つの識別に基づいて、既知のMCEを自動的に検出するように構成される論理回路と、

前記記憶された情報に基づいて、前記異なるデバイスの1つまたは複数との接続を自動的に再確立して、前記MCEを再確立するように構成される論理回路とをさらに備える、C8に記載のUE。

[C10] 前記再確立されたMCEに基づいて、前記UE上の少なくとも1つのRFデバイスを無効にすることと構成される論理回路をさらに備える、C9に記載のUE。

[C11] 前記異なるデバイスの少なくとも1つの前記識別が、前記異なるデバイスのMACアドレス、デバイスID、ブルートゥースデバイスアドレス、ネットワークSSID、IPアドレス、またはセルタワーアドレスに基づく、C9に記載のUE。

[C12] 前記相関付ける論理回路が、

前記異なるデバイスとの前記接続に関する履歴情報を取得するように構成される論理回

路を備える、C 8 に記載のUE。

[C 13] 前記異なるデバイスの少なくとも2つが、前記異なるデバイスの別のデバイスとは異なるワイヤレス技術を使用して前記UEと通信する、C 8 に記載のUE。

[C 14] GPS位置および/または他の位置ベースのサービスに基づいて前記MCEを決定するように構成される論理回路をさらに備える、C 8 に記載のUE。

[C 15] ユーザ機器(UE)を接続するための装置であって、

前記UEとの異なるデバイスの接続を監視するための手段と、

前記異なるデバイスの前記接続を相関付けるための手段と、

前記相関に基づいて、モバイルコンピューティング環境(MCE)を決定するための手段と、

前記MCEと関連付けられる情報を記憶するための手段とを備える、装置。

[C 16] 前記異なるデバイスの少なくとも1つの識別に基づいて、既知のMCEを自動的に検出するための手段と、

前記記憶された情報に基づいて、前記異なるデバイスの1つまたは複数との接続を自動的に再確立して、前記MCEを再確立するための手段とをさらに備える、C 15 に記載の装置。

[C 17] 前記再確立されたMCEに基づいて、前記UE上の少なくとも1つのRFデバイスを無効にするための手段をさらに備える、C 16 に記載の装置。

[C 18] 前記異なるデバイスの少なくとも1つの前記識別が、前記異なるデバイスのMACアドレス、デバイスID、ブルートゥースデバイスアドレス、ネットワークSSID、IPアドレス、またはセルタワー アドレスに基づく、C 16 に記載の装置。

[C 19] 相関付けるための前記手段が、

前記異なるデバイスとの前記接続に関する履歴情報を取得するための手段を備える、C 15 に記載の装置。

[C 20] 前記異なるデバイスの少なくとも2つが、前記異なるデバイスの別のデバイスとは異なるワイヤレス技術を使用して前記UEと通信する、C 15 に記載の装置。

[C 21] GPS位置および/または他の位置ベースのサービスに基づいて前記MCEを決定するための手段をさらに備える、C 15 に記載の装置。

[C 22] 少なくとも1つのプロセッサによって実行されると、前記少なくとも1つのプロセッサにユーザ機器(UE)を接続するための動作を実行させる、記憶された命令を含む非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、前記命令が、

前記UEとの異なるデバイスの接続を監視するための命令と、

前記異なるデバイスの前記接続を相関付けるための命令と、

前記相関に基づいて、モバイルコンピューティング環境(MCE)を決定するための命令と、

前記MCEと関連付けられる情報を記憶するための命令とを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

[C 23] 前記異なるデバイスの少なくとも1つの識別に基づいて、既知のMCEを自動的に検出するための命令と、

前記記憶された情報に基づいて、前記異なるデバイスの1つまたは複数との接続を自動的に再確立して、前記MCEを再確立するための命令とをさらに備える、C 22 に記載の非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

[C 24] 前記再確立されたMCEに基づいて、前記UE上の少なくとも1つのRFデバイスを無効にするため命令をさらに備える、C 23 に記載の非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

[C 25] 相関付けるための前記命令が、

前記異なるデバイスとの対話および前記接続に関する履歴情報を取得するための命令を備える、C 22 に記載の非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

[C 26] GPS位置および/または他の位置ベースのサービスに基づいて前記MCEを決定するための命令をさらに備える、C 22 に記載の非一時的コンピュータ可読記憶媒

体。